

北部地域整備対策特別委員会行政視察（概要）

1 視察日

令和元年10月24日（木）～25日（金）

2 視察項目（視察都市）

・五ヶ山ダム周辺整備について（福岡県那珂川市）

3 参加委員

委員長：坂口康博、副委員長：稲葉通宣

委員：朝田 充、岩本 守、篠原一代、上田嘉夫

4 調査概要

五ヶ山ダムが建設された那珂川は、福岡県北西部に位置する延長35kmの二級河川で、その下流沿川は、これまで度重なる洪水・濁水被害を受けた地域である。こうした被害を軽減するため、五ヶ山ダムは、洪水調節、流水維持、水道用水の確保、異常濁水時の緊急補給を目的に建設された重力式コンクリートダムであり、平成30年3月に建設事業が完了している。

ダム建設に当たっては、ビオトープの整備を初めとする、さまざまな環境保全に努めたほか、ダム湖周辺には、官民連携によるアウトドア施設を新設し、既存の「グリーンピアなかがわ」とあわせて「五ヶ山クロス」と称する観光拠点を整備している。市内外から多数の来場者を呼び込むために、民間のアウトドア総合メーカーのモンベルと連携し、アウトドア・アクティビティの拠点として、2019年3月に完成した。現在は5年契約でモンベルが指定管理者となっている。

「五ヶ山クロス」の拠点となる「ベース」には物販や飲食スペースを備えるほか、宿泊場所には、居住性の高いサイトや、ペットとともに宿泊できるドギーサイトなど、ニーズに応じたさまざまなサイトを整備している。また、「グリーンピアなかがわ」には、バンガロー、野外バーベキュー場、水遊び場などが整備されており、新設のキャンプサイトより安価に利用できるため、子ども会などの団体客にも利用されている。



5 委員長所感

今回の視察で特に印象的であったのは、「五ヶ山クロス」の4つのエリアの多様性である。来場者の幅広い年代にわたって楽しめる空間が用意されており、マーケティングレベルの高いモンベルと連携したことが時代の先端を行くことになったものと推察される。本市においても、先進性と継続性を重視したダム湖周辺整備の参考にすべき点が多くあった。